

広域景観づくりの初動期における地域連携に関する研究

担 当 部 科 居住科学部都市生活科、住生活科

研究の目的

本研究は、広域景観づくりの初動期において、複数の市町村で広域景観づくりに対する意識や価値観を共有し、具体的な取組みを展開するための地域連携方策について検討することを目的としています。

研究概要

今年度は、羊蹄山麓地域、東オホーツク地域での実践を通して、広域景観づくりの課題の共有化、広域景観資源の抽出、広域景観づくりから見た市町村施策の整理などを行いました。

また、既存の全道の景観資源資料を分析・再整理し、広域景観の取組を進める目安となる地域範囲や景観特性の参考として活用できるようにしました。



地域住民による見学ツアー(東オホーツク地域)

● 地域での取組を通じた検討

	東オホーツク地域	羊蹄山麓地域
事業名(支庁事業)	知味の自然を活かすオホーツクの景観づくり事業	羊蹄山麓広域景観発信事業
事業年度	H15-17	H15-16
対象市町村	網走市、東津谷町、女満町、美幌町、斜里町、清里町、小清水町	札幌市、二子町、真狩町、留寿館町、喜茂別町、京極町、伊達市
当初の取組目的	地域の景観づくりに対する意識向上	広域景観づくり推進事業の指定
核となる体制	地域活動住民、町村職員有志、支庁、コーディネーター、北越群等	構成町担当者、支庁、コーディネーター、北越群等
H16年度取組内容	ワークショップ4回 見学ツアー 2回 フォーラム 1回	検討会議 2回 ワーキング 8回 フォーラム 1回
特徴	地域住民中心による検討	支庁・構成町併設
主な検討事項	・広域景観からみた地域の特徴と課題の整理 ・取組の方向性、目標の共有 ・「子どもの自然体験・景観学習」 ・「花・緑の取組」 ・「農作業の取組」 ・「事例発信会・リーダーづくり」	・景観資源の抽出 ・広域景観の取組イメージの検討 ・景観マップ等作成 ・広域景観づくりから見た市町村施策の連携テーマ検討(右表参照)

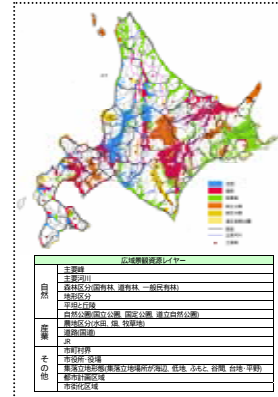
道内二支庁における広域景観の取組について、実際の検討を進めるとともに、今後の展開方向性について整理しています。

● 広域景観づくりからみた行政施策

羊蹄山麓地域における広域景観づくりからみた行政施策の連携テーマ	取組のイメージなど	
農業	農家のソフト支援(中山間直接支払、地力創出推進等)	広域的な土地利用、農地保全方針の共通化など
農産物生産振興、販売・流通(野菜類支援、農業ビジネス支援等)	共通ブランド化、農家団体等の連携・ネットワーク化、共同イベントの開催など	
農業従事者育成(新規就農者支援、カッピング等)	事業の共同化、拠点施設の整備・運営、共同利用など	
農村生活環境整備(集落集約、コミュニティ施設整備)	長期的な整備方針、ルールづくり、生活環境施設の相互補完	
森林整備	私有林造林支援(21世紀の森づくり等)	対象地域の広域的調整
森林整備推進活動支援(保育育成活動支援、調査)	町村有林の造林・管理	活動団体等のネットワーク化、事業の共同化など
観光	観光誘導	情報発信の一元化、ツアー等の共同企画など
観光/花緑など	地景資源誘導(ガイドブック作成、フォトコン)	景観学習などの実践
	まちなみ、街路灯整備	情報・データの共有化
	花・緑推進(花いっぱい運動推進、沿道花壇整備、イベント開催)	特色ある市町村の形成、町村独自の取組を基本とした連携

羊蹄山麓地域では、構成町村の全ての施策を広域景観づくりの観点から整理し、今後具体的に連携可能なテーマを検討しています。

● 広域景観資源の抽出



ランドデザイン策定時の景観資源をデジタルデータ化し、重ね合わせることで広域景観の取組を進める目安となります。

羊蹄山麓地域での実践(フォトコンテストを活用した景観マップ)



今後の取り組み

来年度は、地域住民による具体的な取組の支援やコーディネート、担当部局による行政施策連携の検討など両地域での取組を通じて広域景観の初動期における連携方策を検討します。